

# 東中だより

発行/愛川町立愛川東中学校  
住所/愛川町中津1400  
電話/(046)285-0029  
FAX/(046)286-7984  
発行責任者/大泉 哲郎  
発行日/平成31年1月18日

## 『進化する2019年に』

学校長 大泉 哲郎

新年あけましておめでとうございます。旧年中は様々なご協力、本当にありがとうございました。引き続き本年もよろしくお願いいたします。

さて、今年も箱根駅伝をテレビで観戦しました。たすきを継いでひたすら走るだけの画面に、なぜか引きつけられてしまいます。今年も様々なドラマが繰り広げられました。

青山学院大学を率いる原監督が5連覇を逃し、「進化を止めた時から退化が始まる。私自身、去年と同じ事をやれば、と保険をかけていた部分があった」と語った言葉は、教育者の一人として心に刺さりました。原監督は生活面の規律指導や部の方向性の在り方といった点では大変厳しいのですが、練習は選手の主体性・自主性を重んじ、それにより素晴らしい実績を残してきました。しかし毎年選手の顔ぶれもそれぞれの個性も、また時代も移ろっていきます。そんな中、指導者はその時その時のベストの方法を模索し進化し続けなければならないのだと改めて考えさせられました。

また、大東文化大学の選手がスタート直後に他の選手と接触、転倒して捻挫をしたにもかかわらず最後まで走り抜き、次の走者にたすきを渡したということもありました。これには感動的だったという意見もあれば選手生命を考えて棄権させるべきだったという賛否両論がありました。しかし、大切なのは、この選手が自分で走る事を選択した、という事でしょう。その判断に、周囲がとやかく言うのはまた違う話だと思います。

心理的リアクタンスという心理用語があります。簡単にいえば「勉強しろ」「かたづけなさい」と言われると逆にそうしたくなくなる心理のことで、心理学で実証されています。

「主体的である。」これがこれからのキーワードになるのでしょうか。一方、自由すぎてもだめになる事もまた証明されています。そこで「対話力」が重要になります。対話を通してどう育て、そして育てられていくか、「大人の在り方」が問われる時代です。常に進化を目指す学校でありたいと思います。

## 『学校指定品 (ハーフパンツ) について』

生徒指導主任：岡田 渉

学校指定品について、来年度よりハーフパンツを新規導入していきます。現行の短パンにはハンカチ等を入れるポケットもないことから、検討を重ね、ポケットがついているハーフパンツを導入することとなりました。また、短パン(紺)については体育の授業用として廃止せず、長いジャージ同様希望者のみの購入です。着用については、新年度以降です。希望される方は販売店までご相談ください。

### 【2月の主な予定】

2月 1日 (金)	2学年 立志式
	自転車安全点検 (1・3年)
4日 (月)	自転車安全点検 (2年)
14日 (木)	新入生オリエンテーション
14日 (木)	～18日 (月)
	公立高校共通選抜

15日 (金)	～19日 (火)
	学習会
20日 (水)	～21日 (木)
	学年末試験
22日 (金)	専門委員会
26日 (火)	全校集会
28日 (木)	生活アンケート





# 全国学力・学習状況調査 生徒質問紙分析結果

教務主任 米澤 明範

## ～本校の課題解決に向けて～

3年生対象に1学期に全国学力・学習状況調査を実施しました。本年度は、教科については例年実施している国語A、B・数学A、Bに加え理科も実施対象となり、質問紙調査については、生徒の学習意欲や生活面等を問う59個の質問項目がありました。本試験の目的のひとつである「学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ことを念頭に、調査結果から本校の課題について考察をしました。今後の学校・家庭・地域で連携するにあたり、目指す生徒像を共有していければと思います。

### 【教科に関する考察及び今後の取り組み】

【国語A】	考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読みについては概ね日頃の学習の成果がでている。</li> <li>語句の意味を読み取り、慣用句などを適切に使うことは概ねできている。</li> <li>与えられた言葉を用いて文を作ることに課題がある。</li> <li>説明的な文章に対する正答率が低い。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の書きについては定期的な反復を継続させたい。</li> <li>説明的な文章について、意見や根拠、仮説、主張、まとめといった段落がどこなのかを押さえたり段落をつなぐ接続語に注意を向けて読み進めさせたい。</li> </ul>
【国語B】	考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の展開や登場人物の描写に注意して内容を理解する問題について正答率が高かった。</li> <li>話し合い活動の場面で、目的に応じて内容を整理して表現することに課題がある。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動を実践する中で、その話し合いのテーマが何かという視点を常に持たせ、建設的な批判ができるよう指導をしていく。</li> </ul>
【数学A】	考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>同類項をまとめるなどきまりに則して計算することは概ねできている。</li> <li>図形の性質を視覚的に読み解く問題は正答率が高い。</li> <li>関数の式やグラフからその関係を読み取る問題は正答率が低い。</li> <li>与えられた条件から立式することは苦手とする生徒が多い。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算については今後も反復をし、きまりに従って計算する力を身に付けさせていく。</li> <li>文章題についてどの表現が式と結びついているか確認させることや、立式した指揮の意味を生徒自身が説明する機会を設けていきたい。</li> </ul>
【数学B】	考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、2年生の単元の内容の正答率が低い。</li> <li>グラフから必要な情報を読み取ることや式を一般化することに課題がある。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在学習している内容と比較をしながら1、2年生の振り返りの場を適宜設ける。</li> <li>パターンに当てはめるだけでなく、与えられた条件のどこに注目すべきかという過程を説明したり記述することを継続していきたい。</li> </ul>
【理科】	考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>覚えた知識を解答することは概ねできるが、与えられたデータを読み取り処理することに課題がある。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な現象について、実験観察等のグループ活動を活用し、自ら考え表現する習慣をつけさせたい。</li> <li>測定値を読み取りその記録を科学的にとらえ、数的な計算の処理能力を身に付けさせたい。</li> </ul>

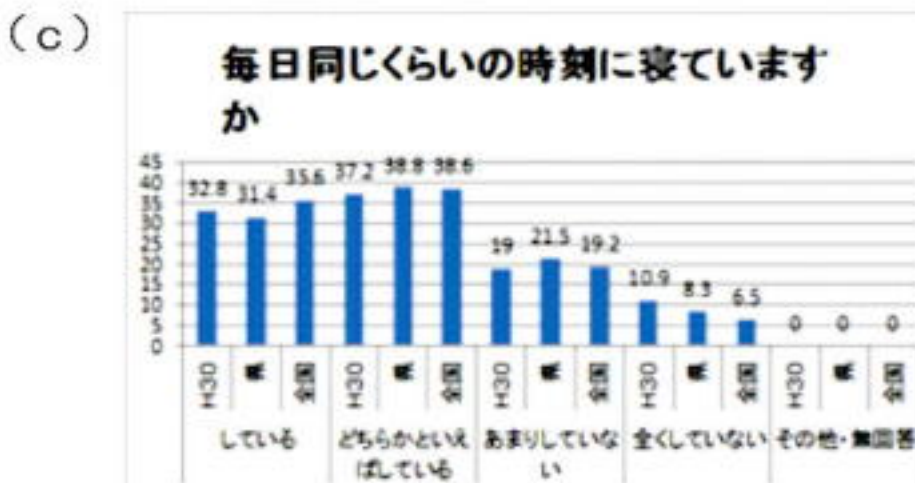
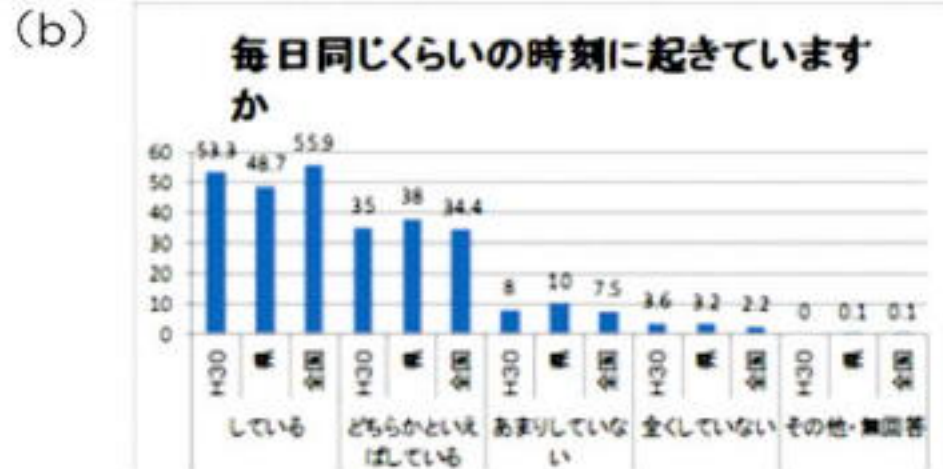
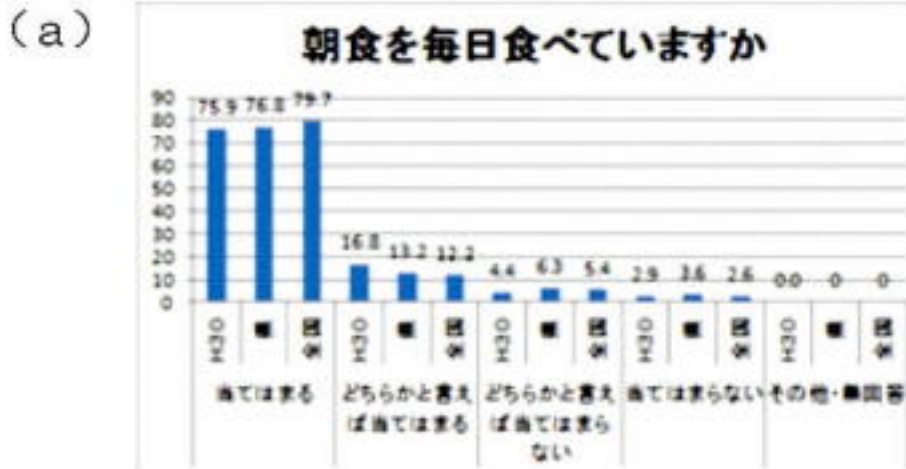
全体的な傾向として、覚えた知識を活用することは比較的できるが、与えられた条件を読み取り、それを数理的に活用する力が不足していることが伺える。題意を読み取り、それを書いたり話したりといった国語科の領域につながる力も課題となる。本校の校内研究のテーマに則した授業展開の継続を校内体制で継続していきたい。



# 【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の考察】

## 1 生活習慣について

毎日の朝食の摂取、起床・就寝時刻について全国・県と近く高い数値の結果がでており、規則正しい生活習慣が身についている様子がうかがえる。起床時刻に比べ、就寝時刻にばらつきが見られる。放課後の過ごし方で最も多いのが「テレビ・DVD・ゲーム・インターネット」(81.8%)ということとも関連が考えられる。生活についての啓発も継続していきたい。\*グラフ(a)~(c)



## 2 学習の基盤となる活動について

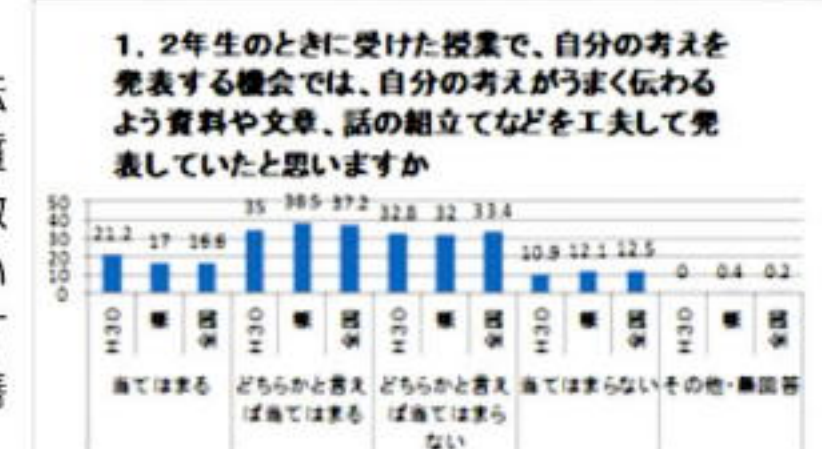
### 【学習習慣】 (d)

学校の授業以外の1日あたりの学習時間については、習慣化している生徒とそうでない生徒と別れる傾向が見られた。4月時点の調査なので1月現在もっと長い学習時間を確保できているとは思いますが、日常的な積み重ねをして粘り強く課題に取り組む耐性をつけていくことが次につながることを啓発していきたい。\*グラフ(d)



### 【言語活動】 (e)

「自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表していたと思いますか」という質問に対して、あてはまる手応えを感じている生徒が一定数おり、校内研修などを通じての授業の工夫が功を奏していると考えられる。今後自己を振り返り、言語化して表現するという力がより必要になってくるので、今後も授業改善・工夫を継続していきたい。\*グラフ(e)

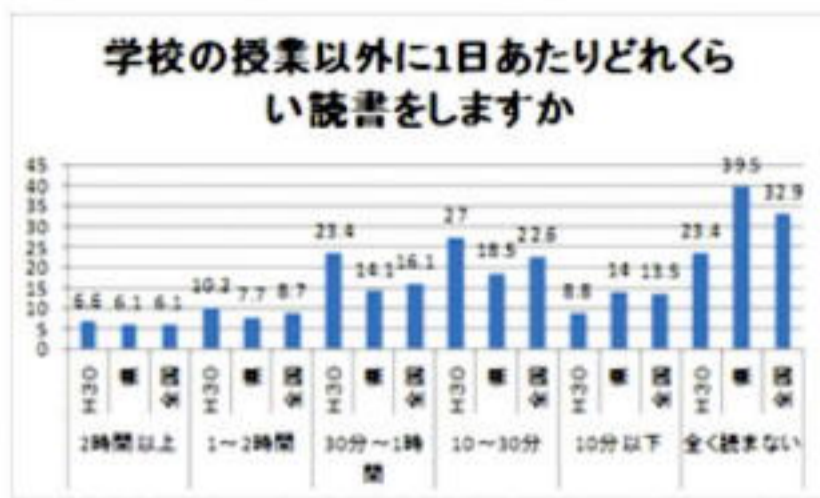




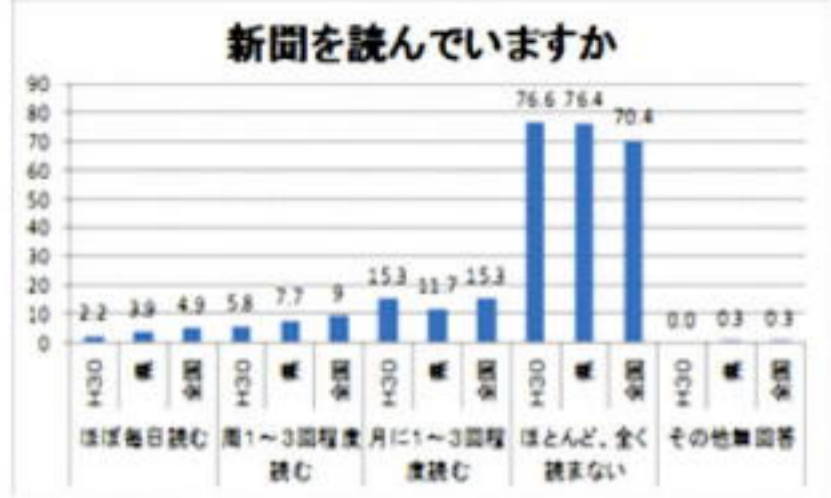
### 【読書習慣】

新聞を読む習慣がなく、社会のニュースはテレビやインターネットで得る生徒が多い。読書に時間を費やす生徒の割合も全体的に低いことから、活字を紙面で読み取るという行為自体が低い傾向が伺える。文言を読みこなし思考へつなげていくという経験をより積んでいけるよう、読書の啓発を継続していきたい。\*グラフ(f)～(h)

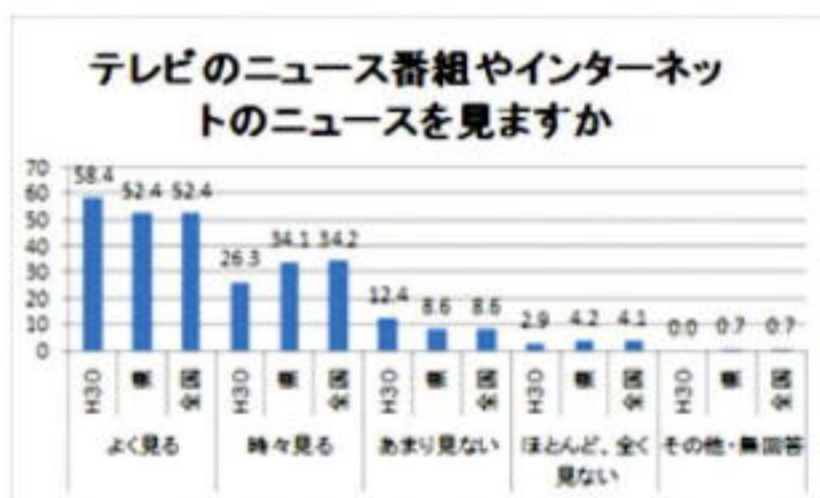
(f)



(g)



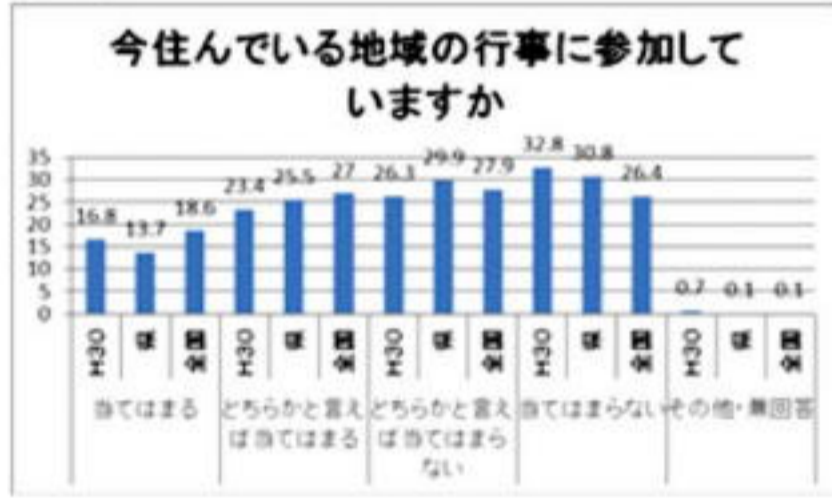
(h)



### 3 地域での生活について

夏の地域のお祭りの手伝い、町駅伝等生徒が地域と関わる行事があり、学校を通じての投げかけも随時行っている。質問紙の結果からは地域との関わりがさらに期待される場所である。コミュニティ・スクールの活用も推進される中、生徒の地域との関わりも今後啓発を進めていきたい。\*グラフ(i)

(i)



### 【今後の教育活動に向けて】

2021年より全面実施される新学習指導要領には、新しい時代に必要となる資質・能力として「学びに向かう力・人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」が掲げられています。また「社会に関かれた教育課程」という理念のもと、コミュニティ・スクールの活用が期待されています。これらは上記で考察した内容とつながるものであり、本校の課題はまさにこれからの世代を担う子どもたちの課題とであると言えます。現在本校では次年度の教育課程の編成に向けて準備を進めています。今年度は学校運営協議会での協議も教育目標制定に大きく関わっていただいたり合唱コンクールの際では来校していただいた保護者の方にも理想の生徒像をシールで添付するアンケートにご協力いただくなどして、例年のない取り組みも継続しています。これらの取り組みが次年度に活かせるよう今後も教育活動の充実を目指していきます。